

学校だより

# 千栄っ子

5月号

令和3年 5月31日

飯田市立千栄小学校

発行責任者 大池 世佳

昨年はコロナ感染のための休校や予防でできなかった行事を今年は少しずつ形を変えながら計画通り行っています。1・2年生にとっては初めての体験、3年生以上の子どもたちにとっては、なんだか久しぶりで新鮮な活動が続く5月になりました。

## 1年生を迎える会

4月30日には、みんな揃って全校で1年生を迎える会を行いました。昨年度行えなかった行事の一つで、特別尊い時間でした。なんと1年生入場は一輪車に乗って。6年生がしっかり手を取って、堂々と一輪車で入場する姿に度肝を抜かれました。各学年の出し物は、上級生が1年生に学校のことを早くわかってもらえるように、学校のルールや学校生活について丸罰ゲームにしたり、格付けチェックにしたり、仲良しの輪を広めようと楽しいゲームも準備してくれました。これで1年生もしっかり仲間入り。日常の当たり前を幸せに感じた素晴らしい会になりました。



## 人権週間(なかよし週間)

なかよし週間に合わせ、校長講話で腰塚勇人のお話をしました。中学校の先生をしていた腰塚さんはスキー事故で体が動かなくなりました。死ぬことばかりを考えていた腰塚さんは奥さんの「何があっても、ずーっと一緒にいるから・・・」という言葉、お母さんの「代わるものなら代わってあげたい」という言葉、仲間や生徒の「先生、待っているから・・・」という言葉で、「必ず、先生として学校へ戻る」と決めました。そして、その日が来たのです。学校に戻る時「5つの誓い」を決めました。口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。目は人のよいところを見るために使おう。手足は、人を助けるために使おう。心は人の痛みがわかるために使おう。・・・普段私たちは口や耳、目、手足、心をどのように使っているか全校で考え、人のためにそれらを使おうとしている腰塚さんの姿から学ぶ時間になりました。

更に友だちを大切にするには挨拶から・・・と考えた6年生は、児童会で自主的に「挨拶運動」を行いました。雨の日も学校の外まで出て、登校してくる友だちに挨拶をしてくれます。フレンドリーな6年生の挨拶に子どもたちもニコニコと挨拶を返します。学校の前の道を行きかう車にも挨拶をしました。週の後半には、運転手さんから先に挨拶をしてくださる方もいました。心を通わす第一歩は挨拶からと子どもに教えてもらいました。



## よこね田んぼ 田植え

1年ぶりに保存会の皆様のご協力で、竜東中学校、千代小学校、千栄小学校の児童生徒で「よこね田んぼ」の田植えを行いました。ピンと張っていただいた紐を頼りに丁寧に稲を植えていきました。始めは土に足を取られふらふらして、作業どころではない子どもたちが、しばらくすると要領を得て次々に植える姿に驚きました。地域の宝であるこの田んぼで活動することで、自分自身が地域の一員であること・地域に役立つ何かができることを感じ取ってくれば良いなと思いました。保存会の皆様ありがとうございました。



## どんぐりの会の皆さんによる読み聞かせ

昨年一年間行われなかった読み聞かせも、どんぐりの会の皆様のお蔭で今年度5月13日よりスタートしました。年間で10回毎週木曜日に行われます。今月は川手清加さん、松島浩子さん、岡田孝子さん、金田千春さんより「こどもってね・・・」「シロナガスクジラ」「ふしぎなたけのこ」「かえるのつなひき」等の本をお読みいただきました。感染予防のため、会場を体育館とランチルームにしたので、子どもたちが聞きにくいかなとも思いましたが、子どもたちが吸い込まれるように本の世界に引き込まれる姿を見ながら、大切な時間だと改めて感じました。どんぐりの会の皆様1年間よろしくお願ひいたします。

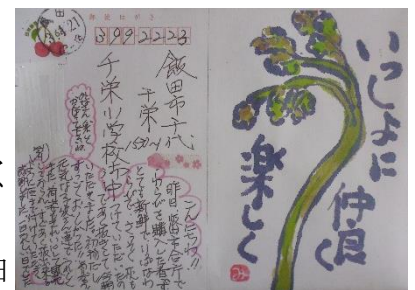


## 5・6年生 絵手紙でお返事

ある日突然、学校に絵手紙が届きました。飯田市合庁でわらびを買ってくださったお客様からです。「…………元気なお子さんたちでうれしく、荷姿もきれいにして販売しておられ、すぐあく抜きができるように灰まで付けていただきました。うれしい1日でした…………」お客様の心が子どもたちに伝わり、自分自身の行動が役立つ喜びを絵手紙で表現し、お返事を出した子どもたちでした。

## 連絡

雨の時期になりました。お見送り・お迎えをお願いすることもあるかと思ひます。よろしくお願ひいたします。



# 参観日

